

# 卒業生からの手紙



厳しかったけれど、学校に行くのが  
楽しくて仕方なかった筑女時代

高校O.G. 倉林里実 (文藝春秋「CREA」編集長)

友達との絆を  
深めてくれたのは  
校則のおかげ?

数 えてみたら、卒業して二十  
ウン年経ちました。とても  
信じられません(笑)。今は「CR  
E A」という女性誌の編集長と  
して毎日バタバタと過ごして  
おります。

私自身、生まれは関西なので  
すが、「ふるさととは？」と聞かれ  
ると、「福岡！」と答えます。今も  
分り合える友達や、相談に  
のってくださる先生方がい  
らっしゃる場所だから、それは  
すべて筑女で知り合った方々  
ばかりです。

高校生だった当時、私にとつ  
て筑女の校則はとても厳しく  
感じられました。スカートは絶  
対にひざ丈、リボンは大きすぎ  
ず小さすぎずふんわり結ぶ、放  
課後に天神へ出かけてはいけ  
ない、クリスマスパーティーは

ダメ、男女交際はNGなどな  
ど。思いつき遊びたい女子  
たちには息苦しいものばかり  
でした。

でも、その厳しさが友達との  
絆を深めてくれたのかもしれない  
と、制服を楽しむなら正し  
く楽しもう、似合う日傘はない  
かな、クリスマスがダメならお  
釈迦様の誕生日に盛大にパー  
ティーしよう、とひと味違った  
イベントに、書きながら思い出  
し笑いでいるほど、毎日、学校  
へ行くのが楽しくて仕方がな  
かったです。

パワフルで、何かと意見を言  
いたい私たちに、先生方も真剣  
に向き合ってくださいました。  
なぜ仏教を学ぶ必要があるの  
か、現代史に学ぶべきことは何  
か。授業が終わっても私たちが  
質問攻め。自熱教室さながらの  
展開に、授業はいつも教科書  
どおりに進みませんでした。



倉林さんの  
思い出の  
1枚

▲高校2年生の体育祭における「部活  
別リレー」の時のひとコマ(写真右が  
倉林さん)。

真剣で熱い思いが  
ぶつかり合う中で  
過ごせたことの幸せ

社 会人になってようやくやく  
づいたのですが、厳しい環  
境というのは、学校や先生方に  
重い責任と真剣な思いがあつ  
て作られます。いい加減な気持  
ちでは作り出せません。当時、  
私の担任だった松崎校長先生  
から、実はあの時、職員たちは  
こういう思いで話し合ってい  
たんだよ、と聞くことがありま  
す。熱い思いのなかで多くの時  
間を過ごすことができ、感謝す  
ると同時に、本当に幸せだつた  
と思います。

私と友達は仲が良いわりに、  
卒業したら友達関係は自然消  
滅かもね、なんてドライに言っ  
ていました。それが今でも続く  
長い関係に。数年に一回、連  
絡を取るくらいなのに、会えば  
まったく変わらず話し、笑い、

甘えることのでき  
る仲間です。最近、  
先生方とはお酒を  
飲むことがあります。  
人に伝えること  
という面では教えも  
編集も同じかも  
しれません。仕事  
の話で大いに盛り  
上がります。

お金では買えない人間関係。  
すべて筑女が培ってくれました。  
よく卒業生の方々からあの  
時はよかった、という話を聞き、  
高校生の私は、本当にそうかな、  
と反発した気持ちでいました。  
同じように感じられる方はい  
らっしゃると思います。でも、安心  
してください。私も疑問に思い  
ながら、先輩方と同じ結論に至  
りました。

筑女だったら、大丈夫。いい  
思い出になる学園生活を絶対  
に送ることができます!

**Profile**

くらばやしさとみ ●  
1987年(昭和62年)  
卒(高等学校)。立教  
大学経済学部経済  
学卒業後、株式  
会社山一証券国際  
金融部、株式会社芝  
パーク出版「saita」  
編集長を経て、2008年(平成20年)、株式  
会社文藝春秋「CREA」編集部へ。2010  
年(平成22年)、同誌編集長に就任。

筑紫女学園からの  
お知らせ②  
Information 2

寄付 (順不同)

左記のとおり、寄付を頂きました。  
紙上、お礼とご報告をいたします。

● 学園奨学金  
金 一〇〇,〇〇〇円

● 寄付金  
金 三〇,〇〇〇円  
アキコ・トライチエフスカ様  
(本学園高等学校教育充実のため)

● 川邊 武芳様  
(退職記念)

● 金 二一,六〇〇,〇〇〇円  
中学・高等学校後援会様  
(教育助成費 中学・高校両調理室調理台  
入れ替え工事一式として)

● 寄贈  
中学・高等学校へ  
シャワー加温空気清浄機(保健室)  
中学・高等学校父母教師会様

幼稚園へ  
ポーターランプ、ワイヤレスランプ、  
マイク(遊戯室)  
幼稚園保護者会様

● 称号授与  
大学名誉教授  
平成23年3月18日付  
小山 一行

● 表彰  
九州運動記者クラブ表彰  
「福岡和久賞」受賞  
法人本部 企画広報課 室長(高校陸上部監督)  
河村 邦彦

● 九州・アジア経営塾  
碧樹館プログラムに  
今年度も本学園職員が参加!

TOPICS

## 九州・アジア経営塾 碧樹館プログラムに 今年度も本学園職員が参加!

昨年初めて本学園から職員が参加した碧樹館プログラム(NPO  
法人「九州・アジア経営塾[通称:KAIL]」主催)に、今年度は大学・  
進路支援課の矢幡敏男さんが参加することになりました。

このプログラムは、九州経済の自立とアジアの近未来を見据  
えた、次世代リーダーの養成を目的に平成16年から実施されて  
おり、今年で8期目を迎えます。

6月から約11カ月間にわたり、原則隔週土日のセッションを  
はじめ、合宿や研修旅行など、約230時間の講義や討議の場が  
設けられ、地元企業を中心に入塾された皆さんがお互いに切磋  
琢磨しながら、自らの「基軸」を作り上げていきます。

培われた知識や価値観、創造  
力が学園に還元され、さらに充  
実した教育活動へ繋がっていく  
ことを期待しています。



▲九州・アジア経営塾ホームページ  
<http://www.kail.jp/>